

学位論文審査の結果の要旨

本間 俊之

本研究は、紫外線暴露や加齢に伴って発生する皮膚色素沈着について、新たな予防方法を開発すると共に有効な改善成分を検討したものである。研究では、色素沈着症で起きているメラニン過剰生成に着目し、その生成を顕著に抑制する成分としてサラシノールを見出した。そしてサラシノールの作用機序として、メラニン生成律速酵素チロシナーゼの糖鎖プロセッシングを阻害する機構を明らかにした。また、色素沈着症における過剰に蓄積したメラノソームに着目し、表皮細胞内でライソソームプロテアーゼ cathepsin V がメラノソームの分解に寄与することを実証し、cathepsin V のタンパク質発現を亢進する薬剤として γ -オリザノールを見出した。

以上のように、本論文は、多くの新しい知見を有すること、論文の内容、構成および公表論文数などから、本学位論文審査委員会は、全員一致して、本論文が博士（農学）の学位論文として十分価値があるものと判断し、合格と判定した。

最終試験の結果の要旨

本間 俊之

最終試験は、平成 31 年 1 月 12 日に東京農工大学農学部にて、学位論文の公開発表に引き続き、論文審査委員により行われた。最終試験では学位論文の専門領域に関する質疑応答がなされた。その結果、本審査委員会は本間俊之君が自立して研究を進めることが出来る学識と見識を有しており、博士（農学）の学位を授与するに足る資格があると認め、最終試験を合格と判定した。